

ユーモアスピーチ船橋

2017 (H29) 年 9 月 14 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

137 回船橋ユーモアスピーチ

2017 年 9 月 14 (木)

3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「あべこべ」「波」

ロングスピーチ

「末期膀胱癌闘病記・始末記」 山中 昇さん
「占領下の東京」 山岸 哲男さん

8 月 10 日の参加者：山中、山岸、原田、飯野、中島、入江、飯田、工藤、石渡、大塚、佐藤、稲葉、植野、早瀬、町田、長嶋 16 名

ロングスピーチ

「暦（カレンダー）の世界史」

飯田 省吾さん

暦に関する歴史についてのクイズ

日本列島で1月1日に「日の出」が最初に見られる場所は？

答え 千葉県銚子

暦の成り立ち歴史概略（抜粋）

エジプト人はシリウス（もっとも明るい恒星）の観測からナイル川の氾濫周期を知り、1年が365日と割り出した

ユリウス暦

1582年まで使われた、1年を365.25日としたもの

グレゴリオ暦

1582年から現在まで使われている、1年を365.2425日としたもの

グレゴリオ暦以降の改暦の試み

フランス共和暦、世界暦、ヒジュラ暦（イスラム暦）

日本の暦の変遷の歴史

日本への中国式太陰太陽暦の渡来の変遷

グレゴリオ暦採用の経緯（明治5年12月3日を明治6年1月1日に）

グレゴリオ暦採用当時、英国をモデルにした → 会計年度が4月1日に



3分間スピーチダイジェスト テーマ「感動」「比較」

山岸哲男：「比較」

「比較」という言葉は国語辞典によると「二つ、あるいは三つ以上の物を比べ合わせて、そこに認められる異同について考えること」とあります。赤ん坊は、母親とそれ以外を比較して識別します。子供は比較することで言葉を覚えて字を覚え、さらに数を覚えて計算を覚えます。「比較」は「思考」の素であり、「学問」の基礎になるものでしょう。人は自分と他人を比較して多くを学んで自己の形成を実現してきたと言え

ます。私自身は他人との比較が常に思考・行動の根本にありました。「アイツはオレより勉強ができる。ハンサムだ。女の子にモテる。金持ちだ。奥さんが美人だ・・・」。私は若い時に、自分の物と友人の物を比較して悩みました。「アイツのは、オレのより太くて長い」。しかし70年代に入って、みんながボールペンを持つに至って、私の劣等感は消え去りました。私は自分の「万年筆」を友達のと比較して悩んでいたのです。

植野晏生：「若者は怖い！」

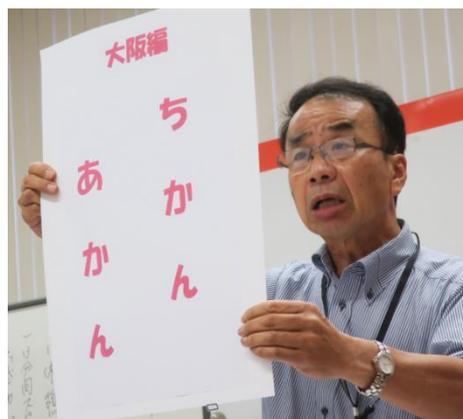
先月「74歳まで働け」という経産省・若手官僚の提言に怖さを感じたので、このメンバーの言動を追跡しました。同じメンバーが書いているレポートを見つけました。タイトルは「さらば「老害」ニッポン」でした。やはり、エリート官僚と言えども、我々シニアに悪意を持っている青年に変わりはありませんでした。』

飯野 望：「比較」

東京と大阪の比較で、
警察募集ポスターは・・・

東京編：君には素晴らし明日が待っている。

大阪編：ごめんで済んだら警察いらへん。



電車の痴漢防止ポスターは・・・

東京編：痴漢は立派な犯罪です。

大阪編：ちかん・あかん

動物園注意書きでは・・・

東京編：危険ですから近づいてエサなどを与えないでください。

大阪編：この動物 かみます。

生命保険では・・・

東京編：この保険毎月のお支払いはいくらかしら？

大阪編：この保険ぶっちゃけ死んだらなんぼ？

以上東京と大阪の比較でした。

原田公平：「感動」

地球一周の船旅 3回目となる今回の船旅は、ボクの「船橋ユーモアスピーチの会」の集大成の場となった。毎月の「3分間スピーチ」、年に1~2回の「ロングスピーチ」、年に一回の「かくし芸大会」は、この11年間に身につけたもの。ピースボートとはそれらをすべて発揮できる場所、上手下手は考えず、勇気をもって一步踏み出せば、思いがけない展開が訪れる。これらを船内で自主企画し実践していたところ、旅の終盤にピースボートからボクに、「エンターテイメントショー・一人トークショー」1時間やってほしいと。「挑戦こそわが人生」を40分トーク、詩吟は「詩吟の会」メンバー10名で「偶成」を合吟し、大好きな民謡「お立ち酒」は船内で知り合った日本舞踊の名妓に踊ってもらい、落語「寿限無」で締めくくり、満席の大会場を沸かせて一躍有名人に。「わが人生の集大成」感動のピースボートライフだった。

山中 昇：「自由題」

・ロングスピーチが暦だったが、聞きながら、思い出したことがある

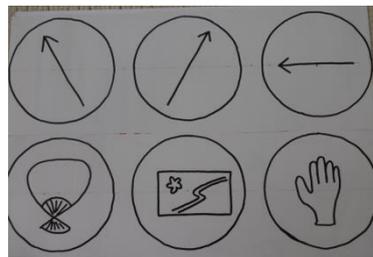
- ・文学作品などで、旧暦（太陰暦）と新暦（太陽暦）の日付で季節のずれが生じることがある例を紹介した
- ・芭蕉の名句「五月雨を集めて早し最上川」が詠まれたのは旧暦の 5 月
- ・五月雨は、今の感覚では、ちよろちよろと降る雨だが、それが集まってなぜ、速しになるのかぴんと来ないさ
- ・芭蕉が句を詠んだ旧暦の日は、新暦の 6 月下旬なので梅雨の真っ盛りで、最上川は川が増水してごうごうと逆巻いていたと考えねばならない
- ・この説明を読んだことがあるが、なるほどと得心した
- ・因みに、現地で読んだときは「あつめて涼し」だったが、帰宅後に「あつめて早し」と変えたという記事も読んだ記憶がある

入江清之：「感動」

敗戦国・日本は S. 24 年にスポーツ競技の国際大会への復帰が認められると早速水泳の古橋広之進等 6 選手がロスでの全米水泳選手権大会に招待された。古橋はそこで 1、500 & 400 m の自由形、800 m リレーの 3 種目とも世界新記録で優勝。彼は S. 27 年のヘルシンキ五輪へも出場するがピークを過ぎ、400 m 自由形決勝で 8 位と惨敗。その現場からラジオ中継のアナウンサーが「日本の皆さん、どうか古橋を責めないで下さい。彼の活躍なくしては戦後日本の発展はなかったのです。彼に有難うと云ってあげて下さい」と繰り返し叫ぶ。ご幼少の私はこの放送に幼心にも感動したことを今でも鮮明に記憶しているが、過日の国会答弁で記憶がない記録もないとシラを切った政治屋や官僚達へは私の萎縮した脳みそを煎じて飲ませたい。

町田雅和：「感動」

英語の発音記号を小学生に教える本を読んで感動した。「題名：ひとりのできる はじめての英語(大空メイ著)」、こんな本と中学生時代出会っていたら、発音の勉強が楽しかったと思う。そこで、今熱中している落語について、落語特有の仕草のやり方を記号化してみた。左右どちらを向いて話すかや、扇子を使うタイミングなどを記号化して原稿に併記すれば、小学生が落語や小ばなしを演じる場合の手助けになると思う。



早瀬君子：「つい最近感動したこと」

先月 7 月のユーモア教室でのお二人のスピーチに感動しました。「揉み具合が夢心地のマッサージチェアを欲しいと思ったが、とても大きな椅子で我が家に置ける場所がなく、一回り大きなマンションを購入してからでないと言えませんが」という田谷さんのスピーチ。その後、「ポストによって椅子の大きさや形が変わっていった現役時代、自分は立派な椅子には座れなかったが、今家では大きなマッサージチェアに座っています」という石渡さんのスピーチ。偶々、お二人のテーマが呼応して、絶妙に面白かったスピーチに感動し心に残りました。いつも船橋の皆さんのスピーチには“感動をありがとう”という気持ちでいっぱい！今後も長く続けたいと願っています。

中島 孝之：「感動」

感動しなかった話をします。先日ハワイアン演奏を聴きに行きました。ドリフターズの高木ブーが彼ウクレレが得意で NHK の講座をしたりしてますが、姉が柏に住んでいる関係で毎年コンサートをしています。チケットが手に入ったので聴きに行きました。三上洋一との共演でした、彼は大橋節夫とハニーアイランダーズの唯一の生き残

りで、仲間は皆天国に行ってしまったとのことでした。ゲストにダニー飯田とパラダイスキングの佐野 修が来ましたが彼も唯一の生き残りだそうです。高木ブーのバンドもメロデーラインがピアノとバイオリンでハワイアンではありません。共演しているフラダンスのチームがおばさんを通り越しておばーさん達で、先生らしい少し若い女性の踊りだけを見ていました。若い頃職場でハワイアのバンドを作って、ウクレレとパーカッションをやっていた私にとって、久しぶりに聴いたハワイアンはもう過去のものに成ったことを知らされガッカリした一日でした。

長嶋秀治：「感動」

私はアル中を自認しています。アルコール中毒ではなく、歩き中毒です。それも山アル中です。山登りには3つの楽しみがあります。1つ目、計画通り登って無事下山した時の達成感と満足感。

2つ目、高山植物を愛で、素晴らしい眺望を楽しむ。3つ目、反省会で飲むビールの旨さ。スピーチの後も旨いですが汗の量の違いが数倍旨さを引出します。今年一番感動した山行は残雪の北アルプスを眺める5月20日、21日の1泊2日で信濃大町近辺の鷹狩山と小熊山に登った時でした。快晴に恵まれ半世紀以上前に登った鹿島槍ヶ岳(2889m)と五竜岳(2814m)のド迫力に圧倒されました。

工藤文夫：「あなたの手土産を教えてください」

千葉に住んで31年目になりまし、たが、手土産で悩んでいます。転居した当初は「千葉=ピーナッツ」とのイメージで、キヨスクで千円の落花生を配っておりました。しかしながら、ある心無い方から、「毎回、こんな安い??ものばかりで恥ずかしくないの??」と言われ(中国製と勘違いしている)ああ、そう思う人も中にはいるのかと感じ、地元の方に訊いたら「オランダ家の落花生パイ」を推奨され、長年にわたり利用していました。30年も経過し、「他になんかないの?」の声も聞こえて来たおり、皆様の中で「ピーナッツ関連」以外で、良い手土産がありましたら、教えてください。



お知らせ

ロングスピーチのレジメは、原則A4サイズ白黒1枚でお願いします。(事前に送付いただければ、町田がコピーいたします)

補足資料が多い場合、ノートパソコンに収納し、プロジェクターで投影することも可能です。ご相談下さい。

予告：10月の船橋ユーモアスピーチの会

10月12日(木) 14時 ニッセイプラザ1階 会議室

ロングスピーチ 原田公平さん「3回目の地球一周の船旅」

3分間スピーチテーマ「乾杯」、「黄昏」、「失敗談」、「自由題」

☆スピーチダイジェスト送付先 mac555new@ybb.ne.jp